

中國文學報既刊總目（三）

（1980年4月第三十一册～1989年10月第四十册）

中國文學報既刊總目
（三）

1 總記	
中國古代文學之比較研究 （中國古代文學之比較研究）〔附論〕サンスクリ ットの四つの流母音 R, R̄, L, L̄ とその中 國文學への影響	饒宗頤 32 饒宗頤 （金文京譯） 32
書評：林田愼之助『中國中世文學評論史』	釜谷武志 32
書評：松浦友久『詩語の諸相』	山本敏雄 33
中國古代詩歌的比興和想像	周祖謨 36
中國古代文學理論的民族特點	張少康 37
鳳凰とフェニックス	ジャン・ピエール・ デイエニイ （興膳宏譯） 39
いくつかの敦煌文獻にもとづく後期道教の諸相	ミシェル・スワミエ （興膳宏譯） 40
書評：V・H・メイヤー著『四人の詠懐詩人 ——阮籍・陳子昂・張九齡・李白による連作 詩集の索引——』	道坂昭廣 40
2 漢代文學	
五言詩起源於婦女文學考	吳世昌 36
「陌上桑」をめぐる	松家裕子 39
『論衡』に於ける意・數・體	小池一郎 35
3 魏晉南北朝文學	
漢魏六朝における「銘」	釜谷武志 40
漢魏詩における寓意的自然描寫——曹植「吁嗟 篇」を中心に——	龜山朗 31
書評：ロナルド・C・ミャオ『中國中世前期の詩 歌——王粲（一七七一—二一七）の生涯と詩歌』	蒲豐彦 38
六朝模擬詩小考	衣川賢次 31
潘岳「悼亡詩」論	齋藤希史 39
書評：小西昇『小西昇中國文學論集 漢代樂府 謝靈運詩論集』	矢淵孝良 35
釋「放蕩」——兼論六朝文風——	鄧仕樑 35
書評：アン・パーレル譯『玉臺新詠』	畑山桂子 39
4 隋唐五代文學	
隋の煬帝について——その詩に關する一考察——	道坂昭廣 37

隋書經籍志序譯註(代)	與膳 宏・川合康三	31, 32
書評：張錫厚校輯『王梵志詩校輯』	松 尾 良 樹	36
陳子昂「感遇」詩三十八首の世界	森 博 行	36
王維與錢起	馬 曉 地	39
李氏朝鮮における杜甫詩集の刊行について	沈 慶 昊	37
元稹の夢についての考察	高 橋 美 千 子	32
李賀と比喻	川 合 康 三	33
書評：孫昌武『柳宗元傳論』	戸 崎 哲 彦	35
柳宗元の明道文學——陸淳の春秋學との關係——	戸 崎 哲 彦	36
柳宗元と中唐の佛教	戸 崎 哲 彦	38
書評：武部利男譯『白樂天詩集』	西 村 富 美 子	34
書評：中國社會科學院文學研究所『唐詩選』	清 水 茂	32
5 宋代文學		
朱熹『楚辭集注』攷	小 南 一 郎	33
『劔南詩稿』に於ける詩人像——「狂」の詩人陸放翁——	西 岡 淳	40
6 金元文學		
書評：J・T・ウィクステッド譯注 元好問『論詩絕句』	高 橋 文 治	38
金末の土風と元曲	高 橋 文 治	34
汗衫記劇について——元刊本・明抄本と明刊本——	赤 松 紀 彦	34
紹介：山西中南部の戲曲文物とその研究	赤 松 紀 彦	37
『賺棚通』雜劇の構造について	小 松 謙	34
元雜劇の開場について	小 松 謙	38
小説『李娃傳』の劇化——『曲江池』と『繡襦記』——	金 文 京	32
7 明代文學		
『三國演義』における趙雲像	上 野 隆 三	38
紹介：湖北省三國關係遺跡	上 野 隆 三	40
西遊記の成立	中 鉢 雅 量	35
小説戲曲在明代文學史上的地位	王 利 器	37
王世貞梅作卮言說辨	顔 婉 雲	33
書評：張國光『《水滸》與金聖歎研究』	中 鉢 雅 量	34
8 清代文學		
文學批評家としての錢謙益	吉 川 幸 次 郎	31

吳梅村研究(前篇・後篇)	小 松 謙	39, 40
書評：李厚基・韓海明『人鬼狐妖の藝術世界——《聊齋志異》散論(附選注百篇)』	岡 本 不 二 明	35
『聊齋志異』の會話表現について	岡 本 不 二 明	37
論王漁洋《秋柳》詩之朦朧美	馬 曉 地	38
袁枚「性靈說」及其與其他詩派的關係	李 銳 清	38
紹介：紅學界の現状簡介	井 波 陵 一	34
書評：福建師範大學中文系古典文學教研室選注『清詩選』	松 村 昂	37
9 現代文學		
瞿秋白と初期左聯	淺 野 純 一	36
茅盾の性慾描寫論と『蝕』『野薔薇』における性愛	三 枝 茂 人	40
書評：王康『聞一多傳』	楠 原 俊 代	33
書評：蕭鳳『蕭紅傳』	岡 田 英 樹	36
端木蕻良の文學に於けるトルストイの影響	村 田 裕 子	33
10 學界展望		
紹介：中國社會科學院文學研究所	薛 智	37
書評：『葛雲文璇奎博士華甲紀念論文集』	沈 慶 昊	39
清水茂教授著作目録		40
最近國內文獻目録(1981年7月～1988年12月)		34～40